



REGENT
INTERNATIONAL
EDUCATION
GROUP

Student Story

VOLUME 1, ISSUE 3

Diploma in Horticulture (園芸) Level5

卒業生インタビュー：内田泰成さん (2015年4月卒)

Regent International の Diploma in Horticulture Level 5 を2015年4月に卒業され、南島に移動し、現在も仕事されているオタゴの果樹園の仕事に就いた泰成さんに学校に入学される前のこと、そして卒業までのみ

ちのり、最後に未来のプランについてインタビューしました。

Horticultureという言葉は日本ではあまり聞きなれない英単語だと思いますが通常、園芸と訳されています。そこで、ここでは園芸コースと紹介させていただきます。

Regent Internationalの園芸コースでは、88週間をかけて園芸とランドスケープについて学びます。それではさっそく泰成さんのお話を紹介してまいります。

インタビュー内容

■ 泰成さんご紹介 1

■ 園芸コースとの

出会い

■ 迷いと決断 2

■ 園芸コース

Q&A

■ まだまだ続く 3

Q&A

■ フォークリフトや

トラクターの資格

■ 園芸業界で働いて楽しいこと、たいへんなこと 4

■ 未来へのプラン

■ 園芸コース詳細 5

編集後記



オタゴの果樹園のスタッフの方々と。

Diploma in Horticulture Level 5コースとの出会い

以前から海外生活をしながら仕事をするに憧れがありました。また登山が大好きで、日本の山々を登るうちに日本(埼玉)での生活が窮屈に感じるようになり、『大自然の中で暮したい』という気

持が強くなりました。そこでニュージーランド移住エージェントの説明会に参加させて頂き、色々な情報とアドバイスをもらいました。エージェントインターナショナルの園芸コースを紹介して頂いたのもちよ

どその時でした。(永住権につながる可能性がある為) それから自分達でも3年から4年の生活プロセスを考え、実際渡航するまでに約1年かかりました。

長年勤めた会社を辞める迷いと決断。



リージェント就学当時の泰成さん

最初にエージェントに伝えたことは、私は自然が好きで海外の国立公園で働くレンジャーに憧れているということでした。しかし、初めからレンジャーを目指すという道は厳しく、まずは自然の事や植物の事を学び就職、そして永住権を取得後にレンジャーの道へ進むと良いのではというアドバイスをを受け、園芸コースというものを紹介してもらいま

した。私がリージェントに入學した時は日本人の学生もスタッフもなく、情報はホームページだけでしたので右も左も分からない状態でした（笑）。

長年勤めてきた会社、安定した生活を捨てて、冒険・チャレンジをするという最初の一步を踏み出すまでが一番悩みましたね。



NZのシンボルツリー
Pohutukawa (ポフツカワ)

“安定した仕事、
生活を捨てて、
チャレンジすると
いう勇気”

野外実習（プラクティカル
サイト）でのひとこま



Diploma in Horticulture Level 5 (園芸コース) に関するあれこれ+お仕事 Q&A

Q1: Regent Internationalには野外実習（プラクティカル）の時間がありますがその時間も含め在学中に学んだことで現在のお仕事に役立っていることはありますか？

A1: ハンドツールなどの使い方や繁殖の方法、病害虫の見分け方などが役に立っていますね。また木や枝の成長、芽、つぼみ、節や栄養などの知識は実際の果樹園での仕事に役立っていると思います。

Q2: コースの講義、または野外実習（プラクティカル）の中で特におぼえていること、興味がある分野は何でしたか？

A2: 植物繁殖の実習で、挿し木などで植物がちゃんとついてくれて感動しました。

Q3: 学校があるときは週20時間まで、学校のホリデー期間はフルタイムで働くことができますが、リージェント就学中にお仕事はされていたか？

A3: はい、していました。

入学して半年ぐらいしてから仕事を始めました。専属のガーデンングのお仕事をさせて頂きました。

Q4: その時のお仕事はどのようにして探したんですか？

A4: ラッキーなことに

Regent International を紹介してくれた移住・留学

エージェントさんからの紹介で受けさせて貰いましたよ。

Q5: 現在は南島の果樹園でお仕事をされていますが、そのお仕事はどのようにして探されたのですか？

A5: その会社のホームページに求人情報があり、直接CV（履歴書）とカバーレターを添付してメールで送りました。

Q6: 卒業して1年少々となりますが、オークランドを離れての就職をお考えになったのはなぜですか？

A6: 以前から南島、特にセントラルオタゴに興味があったからです。それから、南島の方が果樹園が多いと思ったからです。

Q7: 現在のお仕事のジョブタイトル（肩書）は何ですか？

A7: Fruits and Nuts Growerです。



オタゴの果樹園でお仕事中の泰成さん

Q8: 現在の仕事を探し始めた時期を教えてください。

A8: 在学中からリサーチを始め、Diploma in Horticulture Level 5 を修了し、オープンワークビザを取得後すぐに就職活動を開始しました。

※一般的にオープンワークビザ、もしくはジョブサーチビザと呼ばれることが多いのですが、イミグレーションのサイト上ではPost Study Work Visa - Open と2016年現在は表記されています。

Q9: 現場での仕事をしている中で、園芸業界で仕事を見つけたり、働き続けるにあたり有利になるのではと思う資格、スキルなどはありますか？

A9: グローセーフ、フォークリフト、トラクターなどの資格や扱える能力があると役に立つと思います。また機械類のメンテナンスや修理ができると有利になると思いますね。

また常に興味を持って学び続ける気持ちが大事だと思います。あと、ガーデンショップ（例：Palmersなどのショップ）で働く場合は、高いコミュニケーションスキルが必要だと思います。

Q10: 在学中、お仕事と学校の勉強を両立させるために工夫していたことはありましたか？

A10: 常に計画を立てて行動するようにしていました。

Q11: 園芸業界に向いている人物像はどんな人だと思いますか？

A11: 外作業が好きで、植物が好きな人が向いていると思います。

実際の「果樹園」での仕事では、特に体力があることが重要視され、自分自身でモチベーションをキープできるということがとても重要です。

よく、『え～、果樹園いいな～。楽しそう!!』と言われることがあるのですが、暑さ、寒さ、重労働、一人作業など実際の果樹園での仕事はかなりのハードワークです。

フォークリフトの資格

AB Equipment

<http://www.abequipment.co.nz/>

現在園芸コースにご通学中の生徒さんのおひとりが、Forklift Operator Certificate を、ここで取得されました。



就学中に取っておくと園芸業界で将来役に立つ可能性がある資格の一つです。

★グローセーフ (Growsafe) の資格については、Volume 1, Issue 1 の Student Story (中山育美さん編) の Page 3 をご参照ください。

園芸業界で働いていて楽しいこと・たいへんなこと。

自然の中で木々の移り変わりや素晴らしいフルーツが実るところが楽しいですね。またシーズン中は、世界中からたくさんのシーズンワーカーの方たちが来るので賑やかで楽しいです。オーナーにはヤスはスーパーバイザーのポジション（名前だ

け・・・笑）なのだからシーズンワーカーへの説明と指導をするようにと要求され、自分もまだ慣れない中での要求で常にハイプレッシャーでした。毎日凹んでいました。あと、暑さ、寒さが厳しいところはたいへんですね。



未来に向けて。

Q12: 現在のビザの種類と今後のプランを教えてください。また永住権取得に向けて努力していること、工夫している

A12: 12カ月のPost Study Work Visa-Openの後に、Post Study Work Visa-Employer Assisted を申請し、3年のワークビザがおりました。

現在はその3年のワークビザで働いているところです。なるべくEOIポイントを上げるためと英語能力の証明を求められないように2年以上の業務経験後に永住権を申請しようと考えています。

Q13: 園芸コースで勉強したい、また永住権を目指して渡航される方たちへ、渡航前に準備しておく良いものはありますか？

A13: 日本の刃物類は素晴らしい品質があるので、もし園芸業界での就職を希望するのであれば、日本から持参するといいかもかもしれません。特に剪定ばさみほどの職種も必要なので、日本から持参することをお勧めしたいです。

Q14: 永住権を取得後のプランはお考えですか？

A14: 私たちは永住権取得後に、日本やニュージーランド（特にお世話になっているセントラルオタゴ）の人たちが喜ぶようなフルーツに関係するビジネスを立ち上げるとい目標があります。今はそれに向かってフルーツ関係の仕事で日々学び、努力しています。私たちは決して永住権が最終目的や目標ではありません。永住権はビジネスをする為のツール、ただの通過点に過ぎないと考えています。

元々自分で何かをやりたい！という想いがありました。渡航後生活・勉強していく中で、NZで自分が本当にやりたい事というものがはっきりと見え、レンジャーへの憧れもありましたが、早くその夢の実現に向かうために少しその方向性を変えることにしました。

それには、環境の厳しいオタゴの果樹園での就職が自分にとって一番必要で大事なのかなと思い、ここでの就職を決めました。

永住権取得後に、自分たちの夢実現のための土俵に上がることが出来ると思っています。そこから私たちの本当のチャレンジが始まります。

永住権は最終目的や目標ではなく、通過点。

